

みずほCustomer Desk Report 2018/06/25 号(As of 2018/06/22)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	110.08 AUD/USD
TKY 9:00AM	109.95	1.1605	127.59	1.3251	0.7377
SYD-NY High	110.21	1.1675	128.60	1.3315	0.7443
SYD-NY Low	109.80	1.1601	127.57	1.3242	0.7375
NY 5:00 PM	109.98	1.1655	128.21	1.3265	0.7439
NY DOW	24,580.89	119.19	日本2年債	-0.1400	0.00bp
NASDAQ	7,692.82	▲ 20.14	日本10年債	0.0300	0.00bp
S&P	2,754.88	5.12	米国2年債	2.5433	0.43bp
日経平均	22,516.83	▲ 176.21	米国5年債	2.7660	▲ 0.17bp
TOPIX	1,744.83	▲ 5.80	米国10年債	2.8940	▲ 0.36bp
シカゴ日経先物	22,540.00	115.00	独10年債	0.3345	0.30bp
ロンドンFT	7,682.27	125.83	英10年債	1.3185	4.30bp
DAX	12,579.72	67.81	豪10年債	2.6505	▲ 3.95bp
ハンセン指数	29,338.70	42.65	USDJPY 1M Vol	6.85	▲ 0.19%
上海総合	2,889.76	13.95	USDJPY 3M Vol	7.45	▲ 0.16%
NY金	1,270.70	0.20	USDJPY 6M Vol	7.99	▲ 0.09%
WTI	68.58	3.04	USDJPY 1M 25RR	-1.25	Yen Call Over
CRB指数	197.53	3.13	EURJPY 3M Vol	8.99	▲ 0.33%
ドルインデックス	94.52	▲ 0.23	EURJPY 6M Vol	9.30	▲ 0.17%

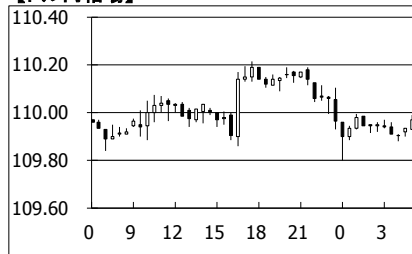
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
6月22日	08:30	日 CPI/コアCPI/コアコアCPI(前年比)	5月 0.6%/0.7%/0.3%	0.6%/0.7%/0.3%
	16:30	独 マークイット製造業PMI・速報	6月 55.9	56.3
	16:30	独 マークイットサービス業PMI・速報	6月 53.9	52.2
	16:30	独 マークイットコンポジットPMI・速報	6月 54.2	53.4
	22:45	米 マークイット製造業PMI・速報	6月 54.6	56.1
	22:45	米 マークイットサービス業PMI・速報	6月 56.5	56.5
	22:45	米 マークイットコンポジットPMI・速報	6月 56	-

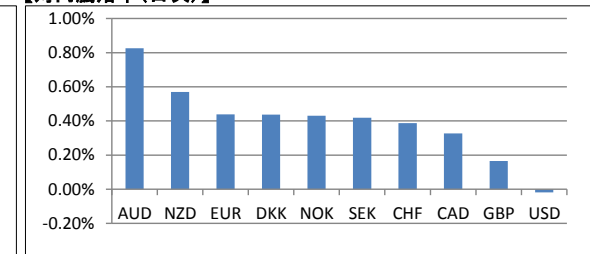
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
6月25日	08:50	日 日銀金融政策決定会合 主な意見	-	-
	17:00	独 IFO企業景況感指数	6月 101.8	102.2
	23:00	米 新築住宅販売件数	5月 667k	662k

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	109.50-110.40	1.1550-1.1700	126.70-128.70

【マーケット・インプレッション】

先週末のドル円相場は、欧州時間に発表されたユーロ圏の経済指標が予想を上回る内容となりユーロ円の上昇につられる形でドル円は110.21の高値をつけるも、その後、米国時間に入りトランプ米大統領が欧州から米国に輸入される自動車に対して20%の関税を課すとソーシャルメディアに投稿したことからリスク回避姿勢が強まり、ドル円は109.80の安値まで下落。その後は週末を控えて110円手前での狭いレンジでのみ合いとなり、そのまま109.98でクローズする展開となった。本日については、市場参加者が米中貿易摩擦の動向に神経をとがらせている中、米欧間についても同様の懸念が加わる形となり、市場参加者のリスク回避姿勢が緩むことは想定しづらく、ドル円は引き続き上値が重い展開となることを予想している。

東京	前日海外時間の軟調な米経済指標の内容を受けてドル円は朝方から上値の重い展開となる中で一時109.84まで下落。東京時間のドル円は109.95レベルでオープン。実需フローが散見される中、ドル円は小幅なレンジ内での小刻みな値動きとなり一時110.07まで上昇。その後は特段目立った材料もなく、110円ちょうどを挟んで方向感の乏しい推移が続き、結局109.98レベルにて海外へ渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、109.98レベルでオープン。OPEC総会を控える中、結果を見極めたい雰囲気から様子見ムードが強まり、ドル円は110円近辺を方向感無く推移し110.18レベルでNYに渡った。ユーロドルは、1.1637レベルでオープン。仏6月総合購買担当者景気指数(PMI)速報値が、55.6と、前月の54.2から上昇し、予想(54.2)も上回ったことから、1.1675に上昇。しかし、貿易戦争の悪影響が懸念される製造業では、新規受注が2017年2月以来の低水準に落ち込み、53.1(予想:54.0、前月:54.4)に低下したことから、上値追いの反応も限定的。その後、ECBが、貸出条件付き長期資金供給オペ(TLTRO)の早期償還額が110億ユーロとわずかにとどまるとの見方を示し、ハ派的政策の継続性を暗示すると、ユーロ売りを誘う。さらに独社会民主党(SPD)が総選挙を準備しているとの報道(独紙)から、1.1632まで下落。1.1643レベルでNYに渡った。(ロンドン17:00 00531 444 179 山本)
ニューヨーク	海外市場では米国側が中国と貿易の再交渉をする為接触しようとしているとのニュースに、リスク回避の動きがやや後退し、ドル円は110.21まで戻し、110.18レベルでNYオープン。朝方はOPEC総会で加盟国と非加盟国が協調し、日産100万バレルの増産で合意されたが、このニュースを受けたドル円の反応は限定的となる。その後はドル売りが先行したことからドル円の上値が抑えられる中、トランプ大統領が欧州から米国へ輸入される車に対して20%の関税を課すとソーシャルメディアに投稿したことから、リスク回避の動きから円が買い戻される動きに、ドル円は109.80まで下落する。一旦売りが一巡すると109.99まで戻すが、午後は週末を控えて狭いレンジでの推移が続き、109.98レベルでクローズした。一方、ユーロドルは、ユーロ圏6月サービス業PMIが予想を上回ったことから1.1675まで戻し、1.1643レベルでNYオープン。朝方は、前述のトランプ氏の投稿を受け、リスク回避の動きから1.1618まで下落するが、OPEC総会で事前に予想されたほどの増産が発表されなかったことから、リスク志向が強まり、ユーロ円の売りにユーロドルは下値をサポートされ、一時1.1667まで戻し、1.1655レベルでクローズした。(NY15:30)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 光石・鶴田